

UCCXライセンスの確認

内容

[概要](#)

[背景説明](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ライセンスファイルコンポーネント](#)

[必須コンポーネント](#)

[ライセンスパッケージコンポーネント \(パッケージ \)](#)

[シートコンポーネント \(シート \)](#)

[ライセンスポート \(合計IVRポート \)](#)

[追加コンポーネント \(アドオンの追加 \)](#)

[ライセンスファイルの詳細](#)

[コンポーネント名](#)

[有効期限](#)

[\[Count\]](#)

[ライセンスMAC](#)

[ライセンスの確認](#)

[\[Verify Licenses with UCCX Administration\]ページ](#)

[CLIによるライセンスの確認](#)

[ライセンスの削除](#)

[ベストプラクティス](#)

[ライセンスファイルの内容の確認](#)

[無効なライセンスと期限切れのライセンスの削除](#)

[ライセンスの問題のトラブルシューティング](#)

[ライセンスを削除できません](#)

[解決方法](#)

[誤ったシート数](#)

[解決方法](#)

[IVRポートの数が正しくない](#)

[プレミアムライセンスの場合](#)

[Enhancedライセンスの場合](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Contact Center Express(UCCX)サーバに現在インストールされているライセンスを確認する方法について説明します。

背景説明

また、ライセンスを削除する方法と、基本的なライセンスの問題をトラブルシューティングする

方法についても説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Unified CCX
- UCCX ライセンス

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、UCCXバージョン11.0(1)に基づいていますが、バージョン8.x以降にも適用できます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

ライセンスファイルコンポーネント

必須コンポーネント

ライセンスパッケージコンポーネント（パッケージ）

購入したライセンスのメインライセンスパッケージ。たとえば、ENHANCEDやPREMIUMなどです。ライセンスファイルにこのコンポーネントが含まれていないと、サーバに「Package None」エラーが表示されます。

シートコンポーネント（シート）

Agent SEATSコンポーネントを持つメインコンポーネント。エージェントシートライセンスは、エージェントをCisco Finesseデスクトップにログインするために使用されます。ライセンスファイルには、「SEAT」という文字列が含まれています。

ライセンスポート（合計IVRポート）

- これは、ライセンスファイルの個別のコンポーネントではありません。
- 拡張パッケージでは、OVAの設定（100、300、または400の標準IVRポート）に依存します。
 -
- Premiumパッケージでは、1シート：2拡張IVRポートの比率になります。
- ライセンスファイルには、ポート固有の行はありません。

追加コンポーネント（アドオンの追加）

ライセンスファイルに追加のアドオンを含めることができます。

| | |
|---|--|
| ハイアベイラビリティ(HA)コンポーネント | これは、クラスタに2番目のノードを追加できるようにするコ |
| アウトバウンドIVRポートコンポーネント | これは、プログレッシブおよびプレディクティブダイヤラベ |
| 録音コンポーネント | これは、MediaSenseベースの録音用に録音セッションをプロ |
| Quality Manager(QM)シートコンポーネン ト | これらのシートは、Cisco Quality Managementと統合する際 |
| Advanced Quality Manager(AQM)シートコ ンポーネント | これらのシートは、Cisco Advanced Quality Managementと結 |
| Workforce Manager(WFM)シートコンポー ネント | これらのシートは、Cisco Workforce Managementと統合する |
| Compliance Recording Seatコンポーネン ト | これらのシートは、Cisco Quality Managementのコンプライ |

ライセンスファイルの詳細

シスコライセンスから取得したライセンスファイルには、通常、拡張子(.lic)が付いています

E.g: IPCC<unique characters>.lic

.licファイルを任意のテキストエディタで開き、ライセンスファイルのさまざまなコンポーネントを確認できます。

取得したライセンスファイルでは、メインコンポーネントは開始タグと終了タグで定義されます。

```
<count>COUNT OF THAT PARTICULAR COMPONENT</count>
```

```
<MAC>LICENSE MAC FOR THE ISSUED SERVER</MAC>
```

コンポーネント名

コンポーネント名は、ライセンスを受けるメインコンポーネントになります。

例：UCCX 11.0 Premium Seatsコンポーネント (100シート) のパーマネントライセンスファイル「SEAT」は、シートタイプを示します。

```
INCREMENT CRS_PRE_SEAT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  

```

有効期限

永久ライセンスには文字列permanentがあります。一時ライセンスには、ファイルの有効期限がありません。

有効期限が切れると、これらの一時ライセンスは無効になり、システムは30日間の猶予期間を与えてライセンスを更新します。

```
INCREMENT CRS_PRE_SEAT cisco 11.0 permanent uncounted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  

```

[Count]

ライセンスされたエンティティの数です。

例：

```
INCREMENT CRS_PRE_SEAT cisco 11.0 permanent uncouned \  
VENDOR_STRING=
```

```
        <MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
このコンポーネントの100のライセンスシート ( プレミアムシート ) を意味します。
```

ライセンスMAC

これは、各UCCXサーバに固有の一意のIDです。サーバのネットワークインターフェイスの物理アドレス/MACではありません。

目的のライセンスを検索するには、[UCCXApplication Administration] > [Licenses] > [Display page] に移動します。

または、コマンドラインインターフェイス(CLI)で、コマンド**show status**

UCCXのライセンスMACは、各サーバに固有のこれらのパラメータで計算されます。

これらのパラメータを変更すると、サーバのライセンスMACが無効になる可能性があり、ライセンスはシスコライセンスによって再ホストされる必要があります。

- タイムゾーン
- NTPサーバ1 (または「なし」)
- NIC速度 (または「自動」)
- [hostname]
- iSCSIポータルの
- IPマスク
- Gateway Address
- Primary DNS
- SMTPサーバ (または「なし」)
- 証明書情報 (組織、単位、場所、都道府県、国)

例：ここでは、ライセンスMAC「FFFFFFFFFF」のデモライセンスです

```
INCREMENT CRS_PRE_SEAT cisco 11.0 permanent uncouned \  
VENDOR_STRING=<count>100</count>
```

```
        \  
HOSTID=ANY \  

```

ライセンスの確認

このセクションでは、UCCXサーバに現在インストールされているライセンスを確認するために、[UCCX Administration]ページまたはCLIを使用する方法について説明します。

[Verify Licenses with UCCX Administration]ページ

ステップ 1 : UCCXクラスタで使用可能なライセンス機能を確認するには、図に示すように、[UCCX Administration]ページにログインし、[System] > [License Information] > [Display License(s)] に移動します。

License Information

Cumulative License Information Delete

Configured Licenses:

- Package: Cisco Unified CCX Premium
- Total IVR Port(s): 100
- Cisco Unified CCX Premium Seat(s): 300
- High Availability : Enabled
- Cisco Unified CCX Preview Outbound Dialer: Enabled
- Cisco Unified CCX Quality Manager Seat(s): 300
- Cisco Unified CCX Advanced Quality Manager Seat(s): 300
- Cisco Unified CCX Workforce Manager Seat(s): 300
- Cisco Unified CCX Compliance Recording Seat(s): 300
- Cisco Unified CCX Maximum Agents: 400

Inbound:

- Available Inbound IVR Port(s): 90

Outbound: (Predictive and Progressive only)

- Cisco Unified CCX Licensed Outbound IVR Port(s): 100
- Cisco Unified CCX Outbound IVR Port(s) In Use: 10
- Cisco Unified CCX Licensed Outbound Agent Seat(s): 100
- Cisco Unified CCX Outbound Agent Seat(s) In Use: 0

Preview Outbound Seat count can be configured in [System Parameters Configuration page](#) .

Current License MAC of the node: efd8d8e9886a

図1 : ライセンスページ

ステップ 2 : ドロップダウンメニューをクリックして、図に示すように個々のライセンスと機能を表示します。

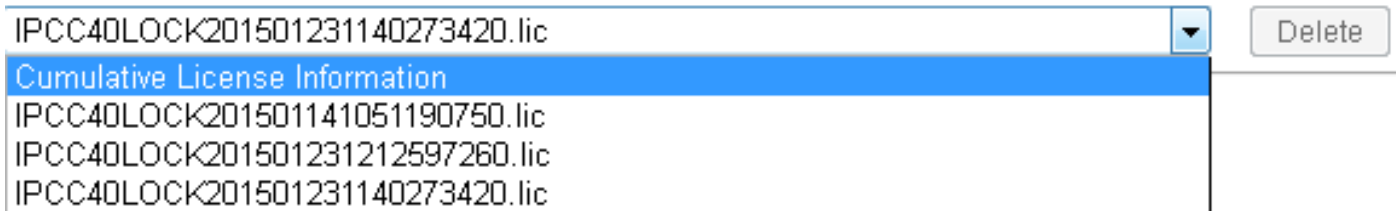


図2:[Licensing (ライセンス)]ドロップダウン



図3 : ライセンスの内容

ステップ 3 : ライセンス情報を表示する際には、主要な機能が正しいことを確認することをお勧めします。ライセンスファイルで確認する必要がある主な機能を次に示します。

ライセンスエントリ

CRS_PREICDSRVR Cisco 11.0を増分する
 CRS_PRE_SEAT Cisco 11.0を増加させる
 INCREMENT CRS_EXP_PRE_WARM_STBY Cisco 11.0
 CRS_QM_SEAT Cisco 11.0を増分
 CRS_ADV_QM_SEAT Cisco 11.0の増加
 CRS_WFM_SEAT cisco 11.0を増加させる
 CRS_CR_SEAT Cisco 11.0を増やす
 CRS_OUTBOUND_IVR_PORT cisco 11.0を増分
 CRS_REC_PORT cisco 11.0を増分します。

機能が有効化されていますか

Server Premiumパッケージコア有効
 プレミアムエージェントシートのプロビジョニング
 ハイアベイラビリティの実現
 品質管理シートのプロビジョニング
 品質管理シートのプロビジョニング
 品質管理シートのプロビジョニング
 品質管理シートのプロビジョニング
 アウトバウンドIVRポートのプロビジョニング (プレデ
 タイプおよびプログレッシブのみ)
 Media Senseのレコーディングセッションをプロビジョ
 グする

表1パッケージのタイプと機能

すべてのコンポーネントを有効にしたライセンスファイルの例：

```
INCREMENT CRS_PREICDSRVR cisco 11.0 permanent uncoun ted \  
VENDOR_STRING=<count>1</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_PRE_SEAT cisco 11.0 permanent uncoun ted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_EXP_PRE_WARM_STBY cisco 11.0 permanent uncoun ted \  
VENDOR_STRING=<count>1</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_QM_SEAT cisco 11.0 permanent uncoun ted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_ADV_QM_SEAT cisco 11.0 permanent uncoun ted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_WFM_SEAT cisco 11.0 permanent uncoun ted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_CR_SEAT cisco 11.0 permanent uncoun ted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_OUTBOUND_IVR_PORT cisco 11.0 permanent uncoun ted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.  
.  
INCREMENT CRS_REC_PORT cisco 11.0 permanent uncoun ted \  
VENDOR_STRING=<count>100</count><MAC>FFFFFFFFFFFF</MAC> \  
HOSTID=ANY \  
.
```

CLIによるライセンスの確認

また、UCCXサーバとのセキュアシェル(SSH)セッションを介して、CLIで現在インストールされているライセンスを確認することもできます。現在の機能とシートを確認するには、**show uccx license**コマンドを実行します。

ライセンスファイルを適用すると、次のパラメータが表示されます。

```
admin:show uccx license  
Configured Licenses:  
  
Package: Cisco Unified CCX Premium  
IVR Port(s): 200  
Cisco Unified CCX Premium Seat(s): 100
```


High Availability : Enabled
Cisco Unified CCX Preview Outbound Dialer: Enabled
Cisco Unified CCX Quality Manager Seat(s): 100
Cisco Unified CCX Advanced Quality Manager Seat(s): 100
Cisco Unified CCX Workforce Manager Seat(s): 100
Cisco Unified CCX Compliance Recording Seat(s): 100
Cisco Unified CCX Maximum Agents: 400
Cisco Unified CCX Licensed Outbound IVR Port(s): 100
Cisco Unified CCX Licensed Outbound Agent Seat(s): 100
For dynamic content like the Inbound ports In Use and Outbound IVR Ports/Agent Seats
In Use please check the Cisco Unified CCX Administration.

UCCXサーバに現在インストールされているすべてのライセンスを表示するには、**utils uccx list license**コマンドを実行します。

```
admin:utils uccx list license
The following licenses are uploaded in the system:
IPCC40LOCK201501231140273420.lic
IPCC40LOCK201501141051190750.lic
IPCC40LOCK201501231212597260.lic
```

Command successful.

ライセンスの削除

UCCXのライセンスには、一時ライセンスと永久ライセンスの2種類があります。一時ライセンスはGUIから削除できますが、永久ライセンスはCLIからのみ削除できます。

ライセンスを削除するには、**utils uccx delete license <licenseName>**コマンドを実行します。ここで、**<licenseName>**はライセンスの完全な名前です。

注：このコマンドを実行した後、UCCXサーバを再起動する必要があります。2番目のノードがある場合は、両方のノードでコマンドを入力する必要があり、両方のノードで再起動する必要があります。

次に出力例を示します。

```
utils uccx delete license
```

```
admin:utils uccx delete license IPCC40LOCK201501231212597260.lic
Warning:
Deleting the license may have adverse effect on the working of the uccx system.
After deleting the license from all UCCX nodes, restart the UCCX nodes in the cluster.
Are you sure you want to run this command?
Continue (y/n)?
```

ベスト プラクティス

ライセンスファイルの内容の確認

ライセンスファイルを開き、内容を確認してから、対象のUCCXサーバに適用します。

- バージョンが正しいことを確認します。
- コンポーネントの数が正しいことを確認します。
- 同じサーバにインストールされているPremiumコンポーネントとEnhancedコンポーネントが混在していないことを確認します。
- 必須コンポーネントがサーバ上にすでに存在する (パッケージおよびシート) か、指定されたライセンスファイルに存在することを確認します。

無効なライセンスと期限切れのライセンスの削除

新しいライセンスファイルをアップロードする前に、冗長または期限切れのライセンスファイルを削除することをお勧めします。

- 有効期限を過ぎた古い一時ライセンスファイルをサーバから削除します。
- ライセンスのクリーンアップ後にUCCXをリブートして、すべての変更を有効にします。

ライセンスの問題のトラブルシューティング

このセクションでは、UCCXライセンスの問題に関して最も一般的に発生する3つの問題をトラブルシューティングする方法について説明します。

ライセンスを削除できません

サーバからライセンスを削除する必要がありますが、[Delete]ボタンはグレー表示されます。

解決方法

[削除(Delete)]ボタンがグレー表示されている場合は、そのライセンスがパーマネントライセンスであることを示しています。無期限ライセンスはUCCX Administrationページから削除できません。CLIで`utils uccx delete license <licenseName>`コマンドを使用して削除する必要があります。

誤ったシート数

UCCXに表示されるライセンスの数が、購入したライセンスの数と一致しません。

解決方法

サーバ上のライセンスの数と各ライセンスの情報を確認します。購入したライセンスの数と一致しない場合、または一致しないもののUCCXに正しい数が表示されない場合は、[Cisco Technical Assistance Center\(TAC\)](#)に連絡して、単一の統合ライセンスを生成してもらってください。また、`utils uccx list license`コマンドの出力を送信して、ライセンスを待ちます。

TACからライセンスを受け取ったら、サーバに追加し、`utils uccx delete license <licenseName>` (該当する場合は両方のノードから) コマンドを使用して、他のすべての永久ライセンスと一時ライセンスを削除します。完了したら、サーバを再起動します。

IVRポートの数が正しくない

UCCXライセンスページには、ライセンスされたInteractive Voice Response(IVR)ポートの最大容

量が、ライセンスで許可されている容量よりも少ないことが示されています。

プレミアムライセンスの場合

Premiumライセンスを使用する場合、この問題はSeats:Ports比率を正しく計算していない場合に発生します。

購入したすべてのシートは、2つの高度なIVRポートに対応します。

例：

20のプレミアムシートを含むライセンスファイルでは、40のAdvanced IVRポートが提供されず（比率1:2）。

詳細については、『Cisco Unified Contact Center Express Solution Reference Network Design Release 9.0(2)』の次の2つのセクションを参照してください。

- [Cisco Unified Contact Center Expressの概要とパッケージ – IVRポート](#)
- [サーバの容量と制限](#)

Enhancedライセンスの場合

この問題は通常、UCCXが誤ったOpen Virtual Appliance(OVA)に導入された場合に発生します。UCCXが使用可能にするポートの数は、OVAに基づきます。これを修正するには、UCCXを適切なOVAに再導入する必要があります。

詳細については、『Cisco Unified Contact Center Express Solution Reference Network Design Release 9.0(2)』の次の2つのセクションを参照してください。

- [Cisco Unified Contact Center Expressの概要とパッケージ – IVRポート](#)
- [サーバの容量と制限](#)

注：IVRポートの数は、「サーバのキャパシティと制限」セクションで説明されているように、特定のサーバプラットフォームでサポートされる最大数によって制限されます。仮想化導入シナリオでは、IVRポートの最大数は、特定の仮想マシンテンプレートでサポートされる最大数によって制限されます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。